

4. セキュリティ要件を満たすための、システム構成の選択理由

各機器は以下のセキュリティ要件を満たす構成とする

○ DBサーバ/ディスクアレイ/ 運用管理サーバ/運用端末

- ・ユーザ認証(ドメイン参加によるログイン制御)
- ・アクセス制御(ファイルやディレクトリのアクセス制御、ソフトウェアのインストール権限など)
- ・ウイルス対策(アップデートの設定、定時スキャンの設定など)
- ・修正パッチ(セキュリティパッチ)対策(自動更新など)
- ・暗号化(システムから抽出されるファイル)

○ セキュリティ管理サーバ/ルータ/ファイアウォール

- ・ウイルスエンジン/パターンファイルの更新管理
- ・OS修正ソフト(セキュリティパッチ)の更新管理
- ・ソフトウェアの配布・提供状況の管理
- ・OSユーザ認証・インストール権限など動作ポリシー管理
- ・アクセス管理(不正アクセスの制御など)
(アクセス管理については、必要に応じて、ログ分析実施)

○ スイッチングハブ

経路/優先制御による機密性のある構成

5. 効率性を考慮した、システム構成の選択理由

各機器は以下のライフサイクルコストの効率性を満たす構成とする

- DBサーバ/ディスクアレイ
将来的に拡張する際の開発・設備コストを考慮して、分散した構成とする
- 運用管理サーバ/セキュリティ管理サーバ
運用効率を考慮して運用管理・セキュリティ管理を一元管理が可能となる構成とする
- LTO・DVDライブラリ
運用効率を考慮して、ライブラリ装置構成とする
- 運用端末
処理の同時性(処理効率)を考慮して複数台で同様の作業が可能となる構成とする
- スwitchングハブ
経路/優先制御により、機密性のみならず、使用帯域を効率的に分散させる